

富雄中学校だより

臨時特別号

2014. 3. 6

奈良市立富雄中学校

ご協力ありがとうございました

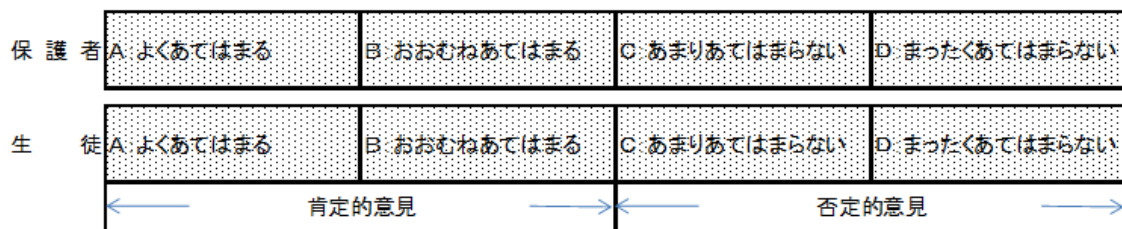
昨年12月には、学校の自己診断（生徒用・保護者用）に協力いただきありがとうございました。保護者の回収率は87%でした。その後、アンケートを集約・整理し分析しているところです。

取り組みを始めて10年目になりますが、本年度も教師の反省だけでなく、生徒や保護者のみなさんの意見も分析しながら、よりよい富雄中学校を目指していきたいと考えています。これからもご協力お願いいたします。

2013年度 学校教育診断結果

生徒および保護者の意見を比較しながらご覧いただけるよう、できるだけ共通の設問内容を設定し、百分率の帯グラフで《保護者》《生徒》の順に学年別に並べています。

A・Bはおおむね肯定的な意見、C・Dはおおむね否定的な意見としてとらえていきたいと考え、生徒や保護者の意向を生かしていきたいと思えます。



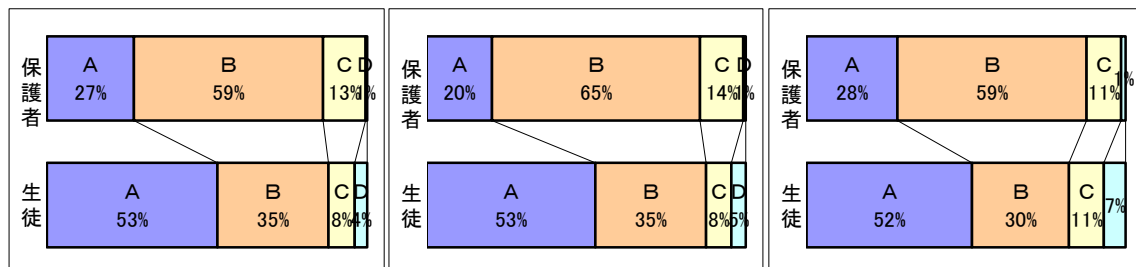
学校生活全般

15. 富雄中学校は魅力ある中学校である。

《1年》

《2年》

《3年》



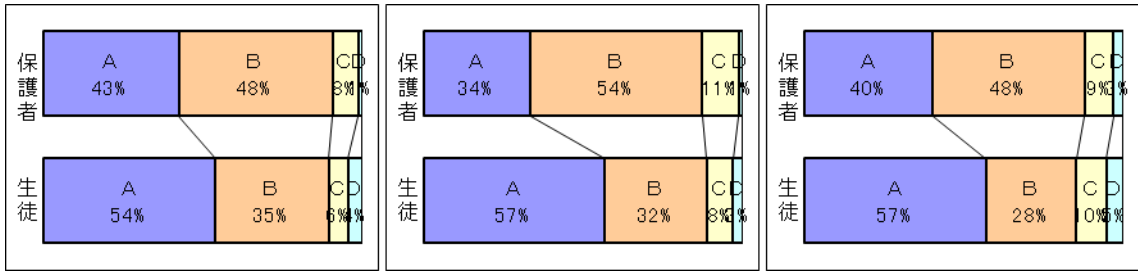
1. 学校へ行くのは楽しい。

NO. 1

《 1 年 》

《 2 年 》

《 3 年 》

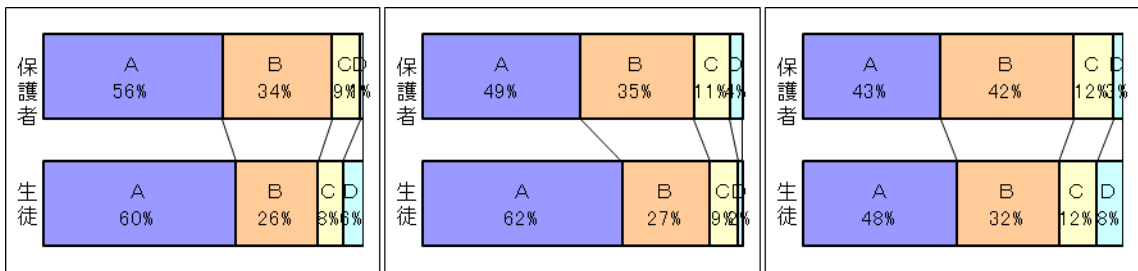


4. 生徒会活動や部活動に積極的に参加している。

《 1 年 》

《 2 年 》

《 3 年 》

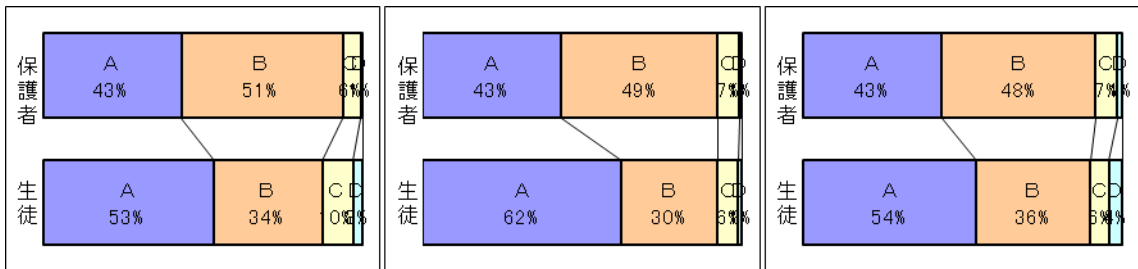


13. 学校行事についての活動が楽しく、みんなで取り組んでいる。

《 1 年 》

《 2 年 》

《 3 年 》



どの項目でも肯定的な意見が80%～90%になっています。このことは、ほとんどの生徒の皆さんが、体育大会・文化発表会などの学校行事や部活動だけでなく日常生活の様々な場面において、他の生徒や先生と一緒に、楽しくいきいきと学校生活をおくることができたということを示していると思います。

現2年生が1年生だった昨年の結果と比較すると、生徒の肯定的な意見が15の項目で4%、13の項目で6%上昇し、1、4の項目では同じ%になっています。現3年生は13の項目で2%上昇しています。富雄中学校の生活にもなれ、学年が上がるにしたがって、生徒の皆さんが部活動や委員会活動、学校行事や、日常生活で主体的に活動できている様子がこの結果にあらわれていると思われます。しかし、3年生で15の項目で2%、1の項目で6%、4の項目で11%、肯定的な意見が減少しているのは、2学期で学校行事が終わり、部活動や生徒会・委員会からも引退し、受験に向かって準備をしている姿のあらわれであると考えられます。

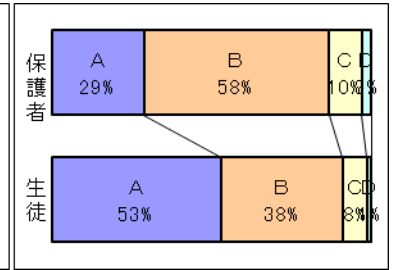
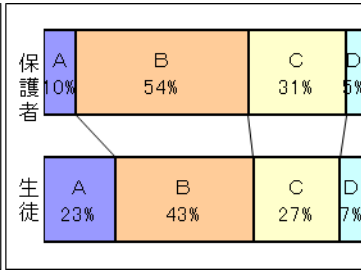
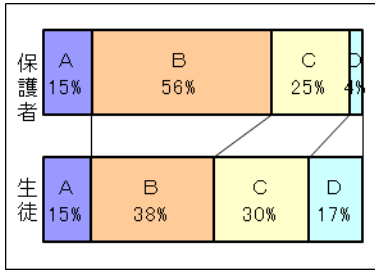
授業・学習について

7. 進路についての情報をよく知らされている。

《1年》

《2年》

《3年》

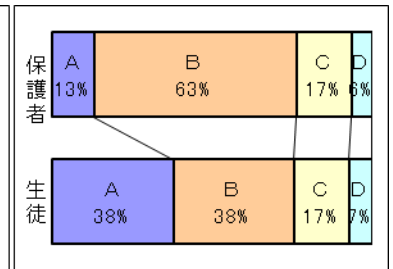
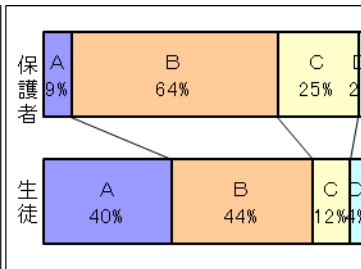
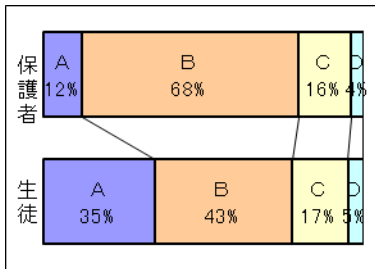


8. 通知票の学習成績は、分かりやすく、次の目標として取り組む励みになる。

《1年》

《2年》

《3年》

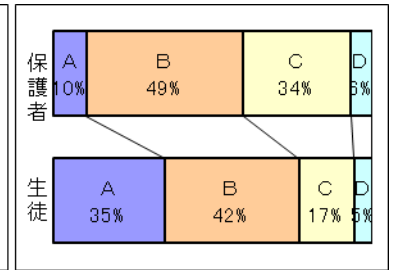
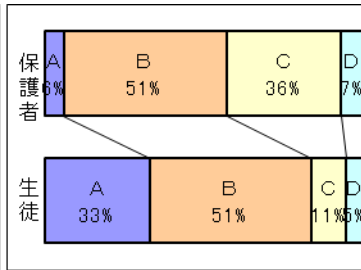
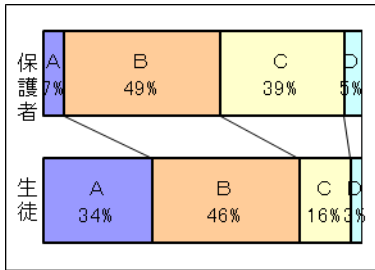


9. 授業は分かりやすく、楽しく取り組んでいる。

《1年》

《2年》

《3年》

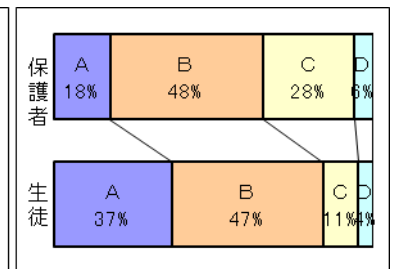
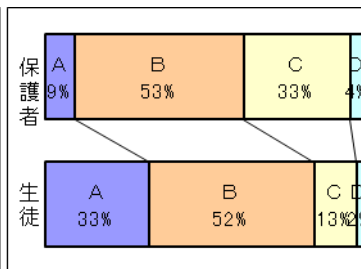
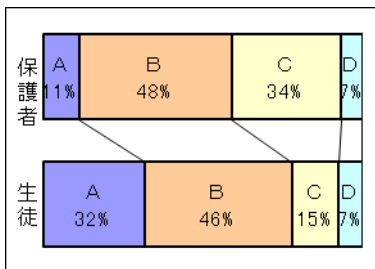


10 授業で、質問したことについて分かりやすく教えてもらえる。

《1年》

《2年》

《3年》



進路決定をひかえ、生徒の関心も高まり、具体的情報提供の機会が増える3年生に比べて、1、2年生の数値が低かった昨年度の反省を受け、富中で行われている、1年生のキャリア教育講演会を保護者も参加できる形に変えたり、実際に見学いただけない内容に関しても、ホームページ等でできるだけ詳しく、スピーディーに情報発信することを心がけました。

学習については、各教科・各学年でシラバスを作成し、進度や学習方法、評価についてなど、詳しい情報提供を行いました。通知票は、観点別の絶対評価を基本に、各教科で時間をかけて丁寧に評価し、分かりやすいものとなるよう努力しています。

授業については、本年度わかりやすいという生徒が1・2年生で80%を超え、3年生でももう少しで80%というところに来ています。今後もこの結果に慢心することなく、授業改善に努めてまいります。

また、学校支援ボランティアの協力を得て、生徒の自発性を引き出し、基礎学力の充実にポイントを絞った放課後学習にも取り組んでいます。つまずき始めの克服が大切です。是非、放課後学習を活用してください。

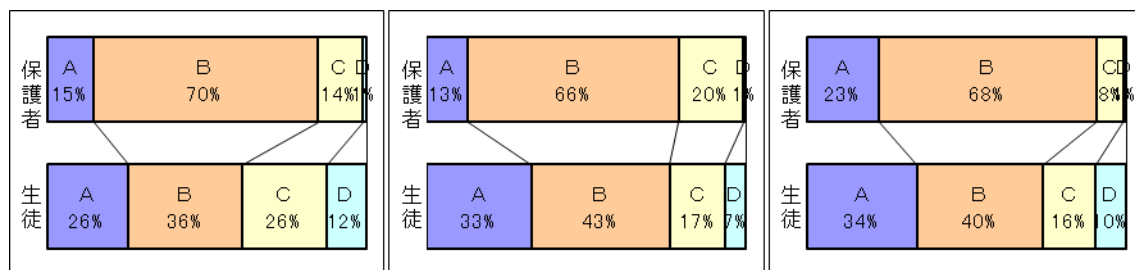
生徒指導・教育相談について

2. 悩みや相談に親身になって応じてくれる先生がいる。

《1年》

《2年》

《3年》

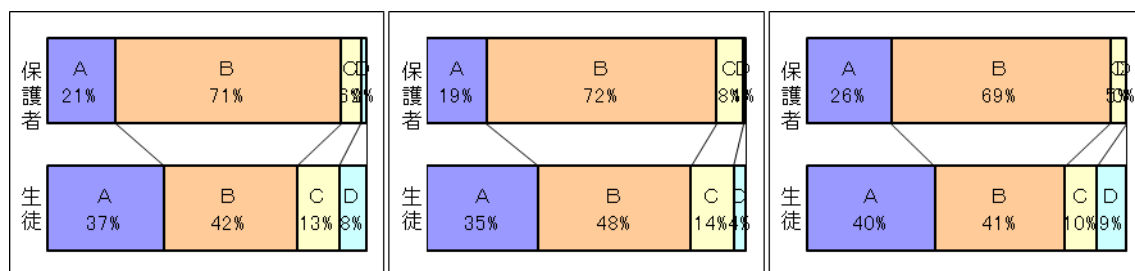


3. 先生は、他の人に知られたくない秘密を守ってくれる。

《1年》

《2年》

《3年》

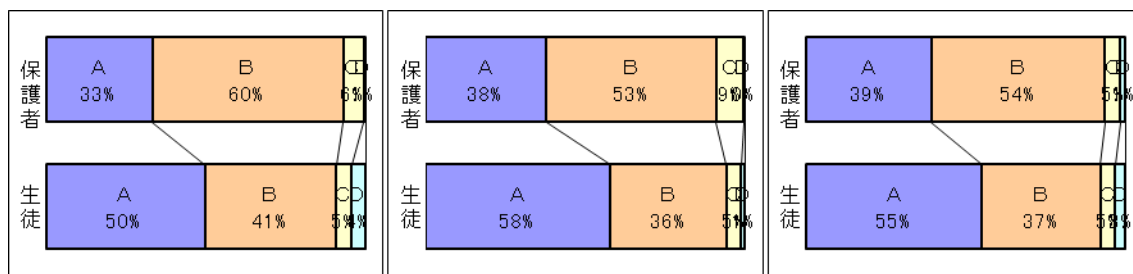


5. 体調をくずしたり、ケガをした場合、すぐに処置してもらえる

《1年》

《2年》

《3年》



本校では教育相談を年2回、2学期と3学期に行っています。教育相談で生徒一人ひとりに向き合い 時間をとって話を聞くことや、日常的に生徒とコミュニケーションをとることなどで生徒との信頼関係を結ぶよう心がけています。教師に対する信頼は、2・3年生において前学年よりも肯定的評価が上がっており、学年が上がるにつれて教育相談等の取り組みが定着し、信頼関係が深まっていく様子が見えてきます。

毎年、2・3年生と比べると1年生は肯定的評価が低くなっています。1年生に対しては、教師それぞれが持ち味を生かし様々な場面で関係を作っていくことをより一層行っていくことで次学年へつなげていきたいと思っています。

また、相談相手として教師だけでなく、スクールカウンセラーを選ぶ生徒や保護者も増えてきています。誰もがスクールカウンセラーを利用できるよう、機会を充実させていきたいと考えています。ぜひご利用下さい。

救急処置については、生徒・保護者ともに肯定的意見が90%を超えています。本校は養護教諭が複数配置されており、その利点を生かし素早い対応ができたようです。体調がすぐれない時やけがをした時、できるだけ早く対応することが安心感を与え、身体の回復に良い影響を与えます。今後もこのことを念頭に置き、素早く、そしてきめ細かい対応を行っていききたいと思います。

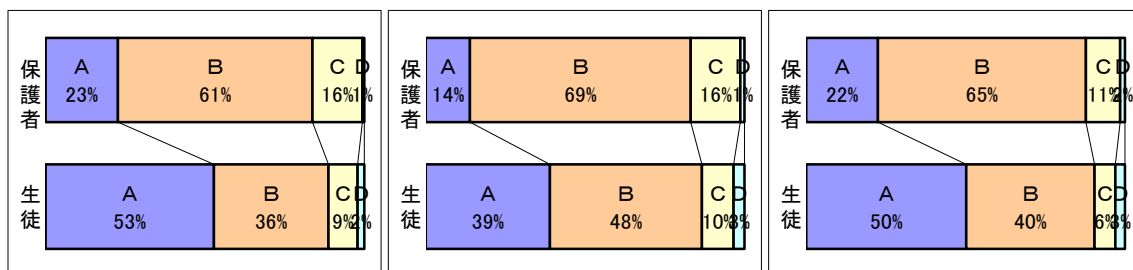
道徳・総合について

1.4. 環境・国際理解・福祉ボランティアなどについて学習する機会が多い。

《1年》

《2年》

《3年》

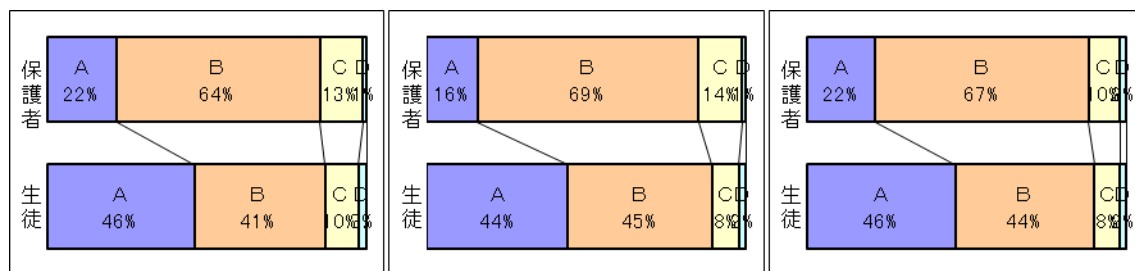


11. 命の大切さや社会のルールについて学ぶ機会がある。

《1年》

《2年》

《3年》



環境・国際理解・福祉ボランティアなどについては、生徒の実態を踏まえ毎年改善や工夫を加えながら、年間計画に基づき進めています。できる限り体験学習、参加型の授業や、ゲストティーチャーとの出会いを織り込んで、「生きる力」を育むことを目指して取組を進めています。具体的「留学生との交流」「国際理解の講演とチジミ作り」などです。

また、命の大切さや社会のルールについても、同様に取り組んでいますが、具体的には「人間関係づくり」「プロが語る特別授業」「いじめについて考え合おう」「職場体験」「部落差別問題」「性教育」等、三年間で多彩なテーマが用意されています。

いずれの取組にも生徒たちは意欲的に取組んでくれており、アンケートの結果にも、確かな達成感や満足感が反映されているようで、学校側が設定している学習の価値観が子ども達にも共有されていることがうかがわれます。

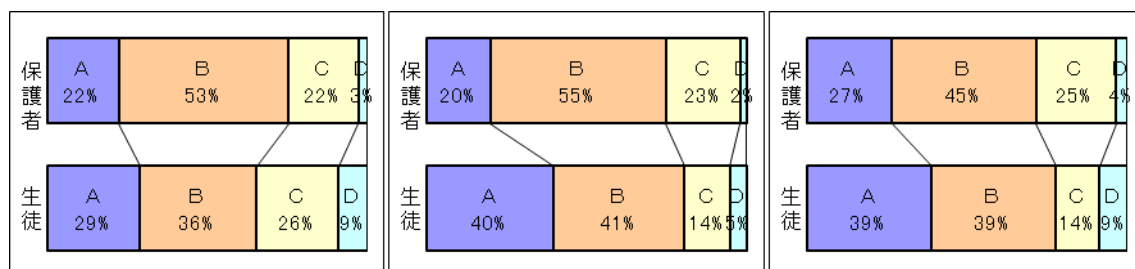
その他

6. 校内の美化作業を積極的にしている。

《1年》

《2年》

《3年》

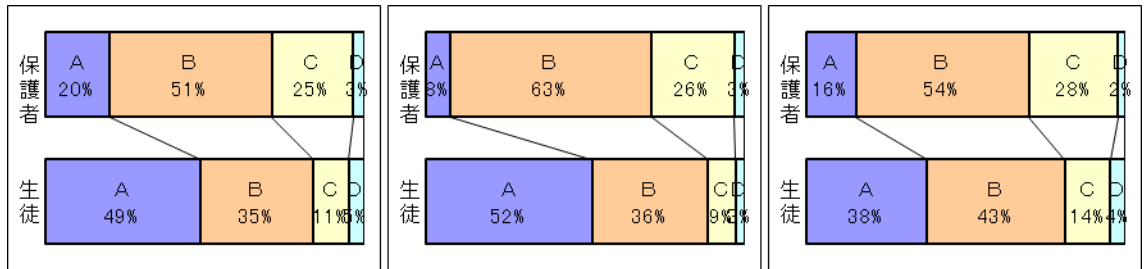


12. 図書室には、本が豊富で利用しやすい環境に整えられている。

《1年》

《2年》

《3年》



学年が上がるにつれて積極的に校内美化に取り組んでいる、という意識結果がみられます。しかし現場の状況に即してみると、1年生はむしろ真面目に取り組んでいるがゆえに、自分たちの行動に厳しい評価をしているように思われます。

生徒会などが主催するボランティア作業では積極的に美化清掃作業に取り組む生徒が、日々の活動の中では今一つ積極的ではありません。現在の清掃システムでは教師の指導も出来ない部分が多く、指導側の体制も見直しが必要です。平成24年度からPTAや学校支援ボランティアの支援も一部分で導入されているが、抜本的な清掃システムの改変が必要だと思われまます。

図書室の蔵書数が増えており、また落ち着いた雰囲気でお昼休みの開館で多くの生徒が利用しています。【2011年29人 2012年33人 2013年40人 開館1回毎の利用者数が増加しています。】しかし、読みたい本を探すのに時間がかかるなどがあるようですので、探しやすい配架を工夫したり、給食が実施される次年度は試行錯誤しながら、よりよい図書室運営に取り組んでいきます。

あとがき

本年度、「豊かな心を養い、人権を大切に育てる生徒を育てる。」「自ら学ぶ意欲と自ら考える力を養い、自主的に実行する生徒を育てる。」「たくましい心身を養い、活力のある生徒を育てる。」の教育目標の下、各学年の発達段階に応じて自尊感情を高めることをめざした教育計画を推進してまいりました。

全国学力学習状況調査の結果では、学力や自尊感情が高かったことが示されています。保護者や地域、学校の三者のバランスのとれた教育が行えた成果が出ているのではないかと考えられます。

今年度も、地域や保護者ボランティアによる学校支援活動として放課後学習や部活動巡回、花咲ロード活動、清掃活動などが推進され、生徒達と地域の方々と一緒に活動する機会も増え、地域の方々にも喜んでいただいています。

また、古本バザーの開催や防災意識を高める避難訓練などを、生徒会を中心に、生徒が自主的に考え、実施することができたことも成長の証だと思います。

今後とも、よりよい富雄中学校を作り上げていくために、どうぞ宜しくご支援下さいますようお願い申し上げます。